

H27年度 常陽森のボランティア 活動実績報告書



平成28年3月
常陽森のボランティア

目次

1. はじめに
2. 活動概要、実績と会員
3. 茨城町小幡フィールドでの活動
4. 茨城町若宮フィールドでの活動
5. 合宿研修とその他活動
6. 助成金活動と会計報告
7. 反省と今後の展開

H27 年度運営

会代表	日熊幸男
顧問	桜井祥二
広報	森 英三
監査	金子訓二

1. はじめに

平成21年2月に森林ボランティア団体「常陽森のボランティア」として発足し、7年余が経過しましたが、その実績を残す為、本報告書を纏めました。活動も7年目となり、今年度も様々な活動を展開してきました。H27年度の特筆すべき項目は下記です。

①若宮フィールド「体験学習の森」の利活用継続:

3年を掛け整備を進めていた若宮フィールド「体験学習の森」の利活用4年目となり、大きなイベントを実施したことです。

【イベント】: イベントとしては昨年度竹林を整備したことによるタケノコ掘りを4月に実施しました。若宮フィールドとしては4年目のイベントで一般ファミリー(タケノコの会)が参加されました。7月には茨城町生涯学習課主催の茨城町立小学校30名が参加した里山自然体験で1日を若宮「体験学習の森」で実施していただいた。子供達含めて50名余が参加するビッグイベントとなり、子供達、含め非常に盛り上がりました。



N O	項目	内容	
1	朝のミーティングとジャガイモ掘り		
2	竹林での竹切り体験と竹の器、水鉄砲作り		

3	竹の切り出しと搬出		
4	竹の器作り		
5	水鉄砲で遊ぶ		

6	流しソーメン 体験		
7	恒例の竹パン		
8	スイカ割り		

9	カブトムシ採り		
---	---------	--	---

【整備】：若宮地区では、例年実施しているチッパーを導入して竹、倒木をチップ化しました。これにより、森林内が非常にきれいになりました。今年度は花王補助金から1回竹林内でチップ化を実施しました。チップについては、たい肥として使うことと、カブトムシを養殖するために利用することで進めています。また若宮には花王補助金で第2ツリーデッキの製作を行い完成させ、子供たちに里山体験時に使ってもらいました。また今年度は花王補助金でピザ窯作りを実施しました。今年度完成を目指しています。

N O	整備 内容	日付	内容	備考
1	竹の チッ プ化	①H27, 11 /1	費用：花王補助金 和興建設のチッパーを借りてチップ化	
2	第2 ツリ ーデ ッキ 製作	H27, 4	花王の補助金をもらい材料を購入して会員で研修合宿を行ない、なんとか里山自然体験のイベントには間に合いました。	

3	ピザ窯作り	H27,9 ,5, 6 (第1回) 研修合宿で今年はピザ窯作りを行いました。基礎作り		
4		H27,9 ,20 (第2回) 基礎作り		
5		H27,10 ,12 (第3回) 火床作り		
6		H27,12 ,6 (第4回) 焼き床づくり		

③若宮体験農場本格化

若宮フィールド内にある放棄農地を開墾し、畑にし、昨年は本格的にジャガイモ、サツマイモ、蕎麦、やさい(なす、カボチャ、トマト、ピーマン他)を植え一部収穫しました。今年もジャガイモは8月の茨城町里山自然体験学習で自然体験学習プログラムの一環として「ジャガイモ堀り体験」を茨城町の小学生対象に実施し、森の中でカレーに入れたり、お土産として持って帰ってもらいました。また4月には昨年同様整備した竹林で「タケノコ堀り」をファミリー、子供達と実施し、タケノコご飯、天ぷらにして森の中で食べました。サツマイモは「干し芋の会」を立ち上げ会員8人に対し、ホシイモ用の紅あずまと玉豊の苗400本を買い、5月に植え付けて11月に収穫しました。しかし今年先般に天候不良で特に9月雨が多く日照不足で出来は良くありませんでした。H28年度は反省して竹林の影が影響しない場所に植えることを検討したい。干し芋は12月13日に会員に集まってもらい蒸かして切って干し芋にし、持って帰ってもらいました。今年入念に芋の取り扱いを行った為腐る量が激減しました。蕎麦についても種が悪かったのと日照時間が少なく不作で、今年は粉を買うことにした。

今年は昨年失敗したひょうたんをたくさん作り成功した。まだひょうたんランプは作っていない。

昨年の体験農園の年間利用について資料を参照下さい。

NO	項目	時期	内容	
1	ジャガイモ	植付け： H27,3/29 芽掻き： H27,4/26		
2	サツマイモ	畝作り、肥料まき H27,5/24 苗植え付け:5/31 (紅はるか、玉豊計6)		

		<p>00本) 草取り: 8/ 13、16</p> <p>収穫: 10 /24</p> <p>400Kg 収 穫</p>		
				
				
3	蕎 麦	<p>ソバ蒔き: 8/13</p> <p>蕎麦刈り: 11/4</p> <p>最終的に 種が悪く発 芽率悪化 し大不作</p>		

4 ひ ひょうたん
 よ 苗植え:
 う 5/24
 た ひょうたん
 ん 生育:8/9

ひょうたん
 加工:9/2
 0、10/12





④カブトムシ取り

8/6の茨城町生涯学習課主催の茨城町の小学生を対象とした里山自然体験学習で実施するカブトムシ取りに使うカブトムシを竹林のチップの中にあるカブトムシを6/28他 3 回採った。日熊が持ち帰り、当日まで餌をやりながら飼った。

N O	項目	時期	内容	
1	カブトムシ取りと飼育	H26, 6/28 竹林にいるカブトムシ焼く200匹を捕獲した。 8/6 子供たちがカブトムシとり	 	 

2. 活動概要と会員

2.1 2つのフィールド活動について

2つのフィールドを各1回/月のペースで活動してきました。茨城町小幡の「元気の森林」では、小幡 I フィールドは「元気の森林」と称して本会の中核となるフィールドで、かなり畑側の間伐も進んでいます。また0.4haと狭いので

すが小幡Ⅱフィールドを一昨年度着手しましたが、今年度は雨が多く活動日が制限されやっています。

児童養護施設・たちき学園の子供たちとの間伐材を利用したきのこつくりや、森林での自然とのふれあいについては、6年目を迎え昨年に較べ学園参加者も増えてきており、子供たちも楽しみにしています。H24年2月には一般の人15名を中心に「きのこつくりの会」を立ち上げ3回に分けて植菌、本伏せ、収穫の喜びを味わっていただきました。これも年々人数が増えてきており、定着してきており、たちき学園と一緒にきのこつくりを楽しんでもらっています。今年度は新会員も入り、参加者が増えています。一般の方にも自然への関心を高めてもらう為、今後も継続して実施します。

もう1つのH22年度より始めた**若宮フィールド**もかなり下刈り、間伐が進みつつあり、坂場さん以下3名の強力な推進もあり4年を経過して、若宮フィールドの奥までほぼ下刈が進み利用できる段階にきました。このフィールドはH22年3月に茨城町と整備に関する協定書を取り交わし、H22年11月には茨城町、県緑化推進機構を交え若宮フィールドを「体験学習の森」として整備するための打合せを行ない、H23年2月に茨城町関係者との打ち合わせを行なって現状進行状況確認と今後の進め方等を議論して進めています。現在は茨城町農政課、生涯学習課と年度利用計画を打ち合わせして進めています。

【倒木チップ化】 また、1昨年度は森林、竹林内に点在する倒木処理の為のチップ化を茨城町にお願いしていましたが、予算が認可となり4回(1回は花王補助金による)に分けて大型チップ装置を持ち込んで、チップ化を行ないました。これにより森の中がきれいになりました。昨年度は花王の助成金で1回竹林内のチップ化を行いました。今年度も残っている個所を行いました。来年度花王の補助金が無くなる為、茨城町に2回分のチップ化予算計上をお願いしました。

N O	チップ化 と費用先	日付け& 場所	内容	
1	花王補助金	H26, 9/21 若宮体験学習の竹林内竹チップ化		

【体験学習広場整備】 体験学習の森の中核となる学習広場にウッドデッキができ上がり、懸案であったツリーデッキを森さんの指導のもと昨年ほぼ完成のところまで出来上がりました。今年度は8月に子供たちに里山自然体験で使ってもらう為最終整備を行いました。また8/6に里山自然体験で子供たちが利用しました。また今年度は花王の補助金でピザ窯作りを行いました。

N O	日付け & 場所	内容	

1	H27, 6/7 若宮体験学習の森 8/6 里山自然体験でツリーデッキで遊ぶ子供達	<p>第2ツリーデッキ完成</p> 	
---	--	---	---

【体験農園の拡大】 昨年中村さんを中心に竹林わきの畑を開墾し、それを広げて350坪の体験農園を作れました。今年もそれを広げて約 400 坪になっています。

「蕎麦」: 農園には8月に蕎麦をまき11月に刈り取りましたが量が少なく蕎麦粉作りは断念しました。反省点は種が古かった点と、受粉の改良等ともう少し種を多く播く必要があります。

「ジャガイモ」: 3月にはジャガイモを植え、7月末に茨城町生涯学習課の主催する里山自然体験に茨城町の小学生 30 人が1日を割いて体験学習の森に来ました。その際、子供達に掘ってもらい、土産で持って帰ってもらいました。



「サツマイモ」: サツマイモはマルチングをしたことで昨年と違い多くの収穫(400Kg)がありました。苗は紅はるか 300 本、干し芋用玉豊 300 本を購入して植えました。今年は干し芋の会を発足させ、8 人が会員となり、5 月に苗植え、8 月草取り、11 月に収穫し 12 月に干し芋作りを実施しました。

【腐葉土作り、カブトムシ育成】

若宮フィールド内でチップ化したチップと落ち葉を利用し、腐葉土作りを行なった。また昨年度は他所よりカブトムシの幼虫を取って来て腐葉土の囲いに入れましたが、多くがいなくなったり死んでしまった反省を踏まえ、7 月の里山自然体験イベントの際、子供を提供するのができました。

7月以降にチップ化したチップの中には来年のカブトムシの幼虫が卵をうみ大きな幼虫になっていた。

来年は今年用の用に苦勞することはないかもしれない。いずれにしてもカブトムシは8月後半では時期が遅すぎる。

NO	時期と内容		
1	H27, 6/28、7/5、7/26 3 回に亘ってカブトムシの成虫を採取し 8/6 の里山自然体験まで飼育した。		

2	8/6里山自然体験でのカブトムシ取り		
---	--------------------	--	--

2. 2資金調達と他団体との連携について

【資金調達】

〈補助金獲得〉

活動の基盤を支える資金調達として、一昨年夏に補助金申請を出していた「花王・みんなの森づくり活動」から3年に亘り助成を受け今年度は3年目で最終となりました。また県の元気な森整備事業の助成金を受ける事が出来ました。

〈会収入増大〉

今年度は会として収入が大きく増えました。大きくは昨年のサマーキャンプに引き続き、8月に開催した茨城町生涯学習課主催の里山自然体験を受け入れ会費を頂いたことです。5万円余の収入がありました。またきのこの会、新たにタケノコの会、干し芋の会を発足させその収入も寄与しました。きのこの会は新会員も入り拡大してきました。そのた講師費用、寄付金等あり約23万円と昨年度(22万円)に比較し微増ではありますが増えました。

【きのこの会】

また今年度は一般の方にも森林含む自然とのふれあい、間伐材の利用などを体験していただくため4年目となった「きのこの会」も会員が増え東京、土浦からの参加者もあり、1年掛けて3回に亘りきのこの会を体験していただくイベントが定着してきました。これは会費をいただくシステムとしており、補助金ではカバーできない食材等含めた出費をカバーできる仕掛けを作っています。また間伐材利用のプランターやたけのこ販売によって会費不足を補えるようになってきました。今年度はタケノコの会を発足させ4月にタケノコ堀りと森の食事会でタケノコをおいしく食しました。

【たけのこの会】

昨年度から始めているタケノコの会も順調に会員が増えています。4月に竹林でタケノコを掘ることを楽しみにされています。また竹を使った工作も定着してきました。今年は12月に竹林から竹を切り出してきて、昨年同様ミニ門松作りを行いました。

【干し芋の会】

今年度から始めた会で昨年の干し芋作り体験を生かし、8名の会員を受け入れ、5月の苗植え付け、8月の草取り、10月の収穫、12月に蒸して干し芋にしました。好評でした。

【合宿研修】

研修に関しては、昨年若宮フィールドで第2ツリーデッキ作りの実体験を行ないましたが、今年の担当は昨年の鈴木さんに続き齊藤さんが若宮「体験学習の森」にピザ窯を製作しました。

N	合宿研修日	研修内容	備考
O	付け、場所		

1	H27,9/5, 6 昼食、ピザ 窯基礎作り		
2	夜は懇親飲 み会		
3	朝ごはん作 りとピザがま 基礎作り 2 日目		

【他Grとの交流】

8/30に取り纏めである中村栄三さんの声掛けで第4回目の森林ボランティア養成講座卒業生交流会が水戸で開かれました。9つの団体が参加し楽しい交流ができました。森、日熊の2名が参加。



2. 3活動実績

H27年度は茨城町小幡「元気の森林」と茨城町町有林(若宮フィールド)を整備してきました。4年前より若宮フィールドについては、地元の方3名が会員となっていていただき戦力大幅アップが図られ、引き続き今年も引っ張っていただきました。

今年は最終活動実績として、添付しました定例活動小幡13回、若宮 12回 計25回、非定例活動小幡8回、若宮1回 計9回 合計 回と前年くらべ大幅に活動が増加しました。大きな怪我等無く無事に3/16に総会を迎えるにいたりました。活動人員も小幡は延282人、若宮は92人で合計 人が参加しました。

9月には第回目となる若宮フィールドで合宿研修をおこないました。今回は第2ツリーデッキを森さん指導のもと作り始めました、夜はバーベキューを食べながら、酒を飲み会の運営、今後の計画などを話し合いました。

2月、7月、11月には茨城町小幡フィールドにおいて恒例となった児童福祉施設「樹(たちき)学園」児童や一般の「きのこの会」の人たちとの「きのこの作り」を体験でき、野外での食事会も大いに盛り上がり、懸案であった地域住民とのコミュニケーション作りも進みつつあります。また一般の方に参加いただいた「きのこの会」も好評で、H25年度活動として2月にきのこの植菌大会を開催しました。

今年はまた若宮フィールドの利活用を始め、4月にタケノコの会の人たちとタケノコ堀りやタケノコご飯、てんぷら等森の中での食事を楽しみました。8月には茨城町と共同で品川ブルーレーシングの少年野球チームの子供達や父兄が参加し、ジャガイモ堀り、竹の伐採から始まり竹の水鉄砲づくり、カブトムシ採り、竹の樋を使った流しソーメン、ご飯を炊いてカレー等沢山のメニューによる食事会を開き、自然体験学習を行なってもらいました。

詳細な活動日程、フィールドについては添付資料を参照下さい。

2. 4会員について

会員は若宮フィールドに近い地元の方3名が若宮フィールド専任の活動をしていただきました。今年も特に懸案であった下刈り、倒木処理が一挙に進み、倒木のチップ化をすることで大幅に整備が進みきれいになりました。会員についていえば今年度は残念ながら新規加入会員はいませんでした。しかし学生を含め応援してくれる周囲の人が増えたことは良かったと思っています。今後HP立ち上げなどのより、会員増強促進を進めたいと考えています。なおH25年度名簿を添付致します。イベントには桜井さん奥さん、森さん奥さん、中村栄さん奥さん、日熊奥さんにも大いに手伝っていただきました。

3. 茨城町小幡フィールドでの活動

H21/2の会発足前より活動していた茨城町小幡フィールドは我が「常陽森のボランティア」活動の原点とも言うべきフィールドで、地権者である平沢 昭様はじめ平沢家の皆様に良くしていただき、活動的には順調に推移しています。また、地域住民の方々ともコミュニケーションが取れつつあり、今年度もより拡大していければと考えています。

H22年度は小幡Iフィールド以外に小幡IIフィールドへ着手し(0.4ヘクタール)の間伐、下刈りを完了させることが出来ました。またH22年度は間伐材の利用としてフラワーボックス作成やドラム缶を使った竹炭製作などプロジェクト活動も活発化しましたが少しマンネリ化したところもあり来年度は新企画を検討したいと考えています。

【イベント】

N O	時期	イベント & 参加 人数	内容	工作	食事	備考

1	H27, 7/19	<u>きのこ</u> <u>本伏</u> <u>せ樹</u> (たち き)学 園子 供達、 きのこ の会、	きの こ本 伏せ	ペットボ トルロケ ット作 り、竹の 容器つ くり	①竹の 樋を使 った流 しソー メン、 ②カ レー、 ③パ ンケ ーキ、 ④焼 きと うも ろこ し、 ⑤鶏 の か ら 揚 げ	
						
 						
 						

		<u>カレー</u> <u>の食</u> <u>事</u>			
		<u>カブト</u> <u>ムシ採</u> <u>り</u>			
		<u>ペット</u> <u>ボトル</u> <u>ロケット</u> <u>作り</u>			
2	H27, 11/1 5	<u>きのこ</u> <u>収穫</u> <u>祭</u> (中 止、	きの こ収 穫祭	雨が降り残念ながら ら中止した。 作っていたキノコご 飯の具があったの でご飯は炊いて持 ち帰った。	
3	H28,2 /21	<u>きのこ</u> <u>植菌</u> <u>大会</u>			

【きのこ作り】

きのこづくりは、児童養護施設「たちき学園」児童の年間計画に組み込まれ自然教育だけでなく、コミュニケーションづくりに寄与しています。また一般の人で構成した「きのこづくりの会」を H23 年 2 月に立ち上げ、今年度はより多くの人に森の恵みを分かち合えるようになってきました。昨年出なかったマイタケは出たのですが取り込み時期を誤り、からしてしまいました。反省！！

NO	きのこの種類	ホダ木	工程	状況	備考
1	しいたけ	コナラ (購入50本)	2/17植菌、7/21本伏せ、11/17収穫	昨年、一昨年のが収穫できたが数は少ない。 特に今年はキノコは不作。シイタケは12月末に生えてきた。1月時期がずれている。	
2	なめこ	アメリカ楓			
3	ひらたけ	アメリカ楓			
4	くりたけ	さくら	昨年植菌したが出なかった	今年収穫	

5	舞茸	コナ ラ (購 入1 5本	<p>今年は植菌をやらなかった</p> <p>昨年、一昨年におこなったホダ木よりマイタケが出た。</p>		
---	----	---------------------------	--	---	---

【炭焼き】

1つの炭焼プロジェクトは震災の影響を受け一部窯周辺が壊れたこともあり余り活動は出来ませんでしたが、昨年懸案の震災で壊れた大谷石が手に入りそれを使った第2窯の作成を行いほぼ出来上がりました。また2つの窯を保護する為屋根を行ないました。昨年度は第2窯は5、6月には火入れを行いました、構造上の失敗もあり炭ではなく灰になってしまいました。2回失敗し、サイドの煙突の出口を小さくすることで火力を弱くし、3回目でやっと竹炭が出来ました。しかし昨年は火力が強かったせいかドラム缶釜の底が抜けてしまいました。抜けたドラム缶を取り出していますが H27 年度に再生しなければなりません。昨年の写真です。

NO	項目	時期	内容	
1	竹炭焼き	H26, 5/18	竹炭焼きを行っている小屋の全景(手前に薪が積んである。)	
2	第2窯での竹炭焼き	炭焼き纏め者の桜井さん		

3	第2号釜竹炭取り出しと第1号窯火入れ	H26,6/15	第2号窯からは良質の竹炭が取れた。第1号釜はターールがかなり溜まっており苦戦。	
4	第2号釜釜改修の為取り出し	H26,10/19	煙突の重みに耐えかね第2号窯のドラム缶の底が抜けてしまった。青柳さんが怪力で取りだした。	

【木工作、竹細工】

間伐材等の利活用推進の為、イベント毎に木工作、竹細工を子供達と実施してきたが小幡フィールドでは今年度下記を実施し、メニューが増えてきた。

NO	名称	実施時期	材料	対象	備考
1	竹工作 (竹トンボ作り)	H26, 4 /20	若宮でのタケノコ掘りの後竹工作を実施。ウグイス笛作り タケノコの会 児童、ファミリー		

2	竹の器とペットボトルロケット作り	H 2 5, 7, 20	流しソーメンの食器となる竹の器作りとペットボトルを使ったペットボトルロケット作り	たちき学園児童、きのこの会児童、ファミリー	
					
3	茨城町里山自然体験学習	H27,8/6	子供たちの体験として竹林より竹を切り出し竹の器(流しソーメンで器として使う)作りと水鉄砲作りを体験してもらった。	茨城町小学生のサマーキャンプ	
					


4	竹発射台とペットボトルロケット作り	H 2 6, 1 1, 16	竹の発射台を使ったペットボトルロケット作りと発射実験	<p>たちき学園児童、きのこの会児童、ファミリー</p> <p>たちき学園グラウンドで発射実験</p> 	
5	ミニ門松作り	H 2 7, 1 2, 23	竹を使ったミニ門松作りを今回初めて実施。好評であった。	<p>会員</p>	
					

4. 若宮フィールドでの活動

若宮フィールドは整備を始めて5年経過し9割方整備が進んできました。まだ残っているのは竹林で今後重点的に整備していきます。特に当初篠竹が繁殖していましたがとりあえず3回は下刈が終わりほぼ篠竹は無くなって来ました。茨城町との協定で燃料の一部も提供願っています。若宮フィールドは町と協定を結んで整備を行なう関係から11月に整備検討会を立ち上げ、町、県緑化推進機構に入っただき、「体験学習の森」として整備するため、現地調査を含め整備計画を纏めて進めています。去年は利活用を行なうということで町と打ち合わせを実施し、8月に大々的に東京より品川ブルーレーシングの少年野球チーム、父兄の方々に自然体験学習プログラムの体験を行なっただき好評でした。今年は茨城町生涯学習課主催の茨城町立小学校生徒を対象としたサマーキャンプ(7泊8日間)の1日を若宮体験学習の森で自然体験学習をしていただきました。生徒50名とサポーターや会員、学生含め総勢80人が参加する大規模なイベントとなりました。

【イベント】

N O	イベント & 参加 対象	時期	内容	工作	食事	備考
1	タケノコ 堀り(タ ケノコの 会)参加 38名	H 2 7, 4 /19	タケノコ堀 り	竹トンボつ くり	①タケノコご飯(釜で炊いた)、 ②タケノコとしいたけの天ぷ ら、③、竹パン④	
2	自然体 験学習 (茨城町 小学生2 6人)参 加総勢3 9名	H 2 7, 8 /6	ジャガイ モ堀り、 工作、カ ブトムシ 採り、流 しソーメ ン	竹の水鉄砲 作り 竹の容器つ くり	①竹の樋を使った流しソーメ ン、②竹パン、③	
3	干し芋 作り	H27, 12/1 3	干し芋の 会会員12 名参加			


4	ミニ門松 つくり(7 人)	H2 7,12 /20	会員によ るミニ門 松作り	竹を切り出し ミニ門松作り	なし	
---	---------------------	-------------------	---------------------	------------------	----	--

【整備とチップ化】

学習のひろば周辺もシンボルツリーの周辺整備、木製パレットをベースにウッドデッキをつくり、またツリーデッキも完成しました。また孟宗竹の竹林があり、H22年度春に竹の子採りをおこなったがH23年度春によりおいしい、多くのたけのこ採りが出来るように竹林内の枯れ木、枯れた竹の伐採、間引きを実施して昨年は本格整備の結果400Kgもタケノコを収穫することが出来ました。又昨年の大きなエポックとして6月より4回に亘って大型のチップパー機械を導入し、倒木、竹のチップ化を行ないました。1回は花王の補助金で、3回は茨城町で予算化していただきました。4回のチップ化作業で森林内が非常にすっきりしました。今年は花王の補助金で1回おこないましたがまだ残っておりH28年度も1回実施する予定です。今年は第2ツリーデッキ作りに着手しました。森林内は枯れ木、倒木の整理を進めています。来年度には近隣小学校の子供たちが少しでも自然を学習できる森に整備できる環境が整ってきたと考えています。今後は多くの知見を得て進めたいと考えます。

【体験農園でのイベント】

昨年より休耕放棄地を体験農園としてよみがえらせ、農園として体験してもらうことを進めていますが、今年は耕作面積を増やし350坪とし多くの作物を栽培し、収穫等を体験していただきました。

N O	作物	植え付け、収 穫時期	収穫量	状況と反省点	備考
1	じゃがいも	3/9 植え付 け、8/6収穫	100Kg	8/6の里山自然体 験学習プで茨城町 小学校の子供達に 収穫してもらった取 ったジャガイモはカ レーに入れて食べま した。	

2	さつまいも (苗：紅あずま200本、ほしいもいづみ200本)	7/6 苗植え付け 11/9に収穫祭用に収穫。	350Kg	11/17の小幡収穫祭で焼き芋にしてきのこの会会員にお土産の持って帰ってもらった。マルチングしたので収穫量が大幅に増えた。干し芋は貯蔵方法に失敗し多くを腐らせてしまった。反省	
					
3	蕎麦	8/27ソバ蒔き、11/14蕎麦刈り、11/22蕎麦の実取り、	8Kg 不作	蕎麦の会を作りソバ蒔きから収穫、蕎麦打ちまでを始めた。しかし今年は天候不順と種まきで失敗し大不作。反省。来年はもう少し大々的におこなう予定。	
					

5. 助成金獲得活動と会計報告

【助成金獲得活動】

会費が3000円/人・年と変えませんでした。今年度も従来の県森林湖沼税からの補助金「元気な森林推進事業」からの補助金をいただき活用できました。我々の活動が定着し実績が認められ始めた為、申請そのものは、2件が受理されました。花王の補助金では第2ツリーデッキの製作を昨年行い今年は活用を始めました。今年はまたピザ窯の製作を始めております。昨年度の懸案であった自己活動資金増やす方策については各種会(キノコの会、タケノコの会、蕎麦の会、干し芋の会(新発足))の収入や各種販売を中心に収入を得る事ができました。H28年度も拡大を図ります。補助金の獲得の詳細は下記を参照下さい。

1) 茨城県農林事務所(森林湖沼税より)(H27,9~H28,3)

「H25年度茨城県元気な森林づくり活動支援事業」 金額: 250,000円

テーマ: 茨城町小幡民有林を「近隣のモデル林」とし、森林整備活動を通じて地域住民とのコミュニケーションを図る。

2) (財)都市緑化推進機構「花王・みんなの森づくり活動」金額: 250,000円

テーマ: 自然環境とその恵みを学ぶ体験学習プログラム

【会計報告】

会費に関する入金、支出、残金に関する報告を添付の「H27年度常陽森のボランティア会費報告」に示します。昨年花王のみんなの森づくりの補助金が取れたことで収入面で大幅に改善出来ました。またいつもいただいている県の元気な森づくりもいただきました。また今年は会としての収入が増えました。きのこの会、タケノコの会、若宮での里山体験学習からのイベント収入、22万円以上になりました。しかし体験農園での種代、他今後とも費用がかかることが予想され、より収入アップが必要です。H28年度も出来るだけ収入を得る手段を考えます。

6. ボランティア保険、レクリエーション保険の加入

今年は秋に中村さんが作業中にけがをしボランティア保険を使わせてもらいました。会員の平均年齢が上がってきたので怪我の心配が今後ともあります。来年度安全教育の徹底を実施したいと思います。施設の子供たちやきのこの会の人たちとのイベントがあることから、きのこつくりを対象に「レクリエーション傷害保険」を継続加入しました。

7. 反省と今後の展開

会発足丸7年を経過し、計画していた項目はほぼ達成し、活動も定着してきました。特に今年は活動も活発化し、他会との交流も増えてきました。ただ会員がまだ少なく、HP作成やイベント活動拡大により新会員の獲得に努めます。今後其他の会との連携、公共機関との連携をより強化していきたいと考えます。

——以上——

H28年3月20日
常陽森のボランティア
幹事 一同